



現在、湖南市岩根の国宝善水寺では50年ぶりに檜皮ぶき屋根のふきかえ工事が行われています。本来であれば35年ごとに修繕を行うのが適切とされていますが、このたび50年ぶりの念願のふきかえとなりました。

檜皮ぶきとは、ヒノキの樹皮を何重にも重ねて、竹くぎを使い打ちとめていく日本古来の屋根ふき技法だそうです。

善水寺は1300年もの

■ 国宝善水寺 屋根ふきかえ見学（湖南市）

日本古来の伝統技法 体感



歴史を紡ぐ古刹で、元明天皇の勅願により、鎮護国家祈願の寺として岩根山に開創いたしました。貞治5（1366）年に再建された本堂は、織田信長の兵火の時も消失を免れたとされています。

湖南市観光協会では、そんな歴史的文化財を支えてきた職人の技術を間近で体感していただき、先人から



特別見学の様子
触れることができる檜皮。いずれも湖南市岩根の善水寺で

受け継がれてきた文化財を後世に継承していきたいから特別見学を受け入れています。工事足場の上でのご住職による解説や仏像の拝観をお楽しみいただくことができます。

この時を逃すと次に見学できるのは50年後かもしれません。職人さんたちがずらりと並び、竹くぎを打つ姿には感動があります！

見学をご希望の方は、観光協会ホームページよりご予約ください。ご来訪を心よりお待ちしております。

（湖南市観光協会・谷俣）

◇

【プラン内容】大人2500円、中高大学生2千円（拝観料・案内料・記念品含む）。10月31日まで。見学時間は午前9時、10時半、午後1時、2時半（1回25人）。所要時間は約1時間（本堂内拝観も含む）。原則、日曜及び作業日程の都合による日は、職人によるふきかえ作業は行われません（足場からの見学は可能です）。目によって見学できる工事内容は変わります。

【アクセス情報】善水寺へはJR甲西駅から湖南市巡回バス下田行き「岩根」下車徒歩約15分。またはJR甲西、三雲駅からタクシー約15分。車は名神高速道路竜王インターチェンジ（IC）より約15分。



これまでの「しが旅のススメ」はこちら